

# 分電盤用SPD

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 適合品  
 国土交通省 建築設備設計基準 適合品  
 クラス ( JIS C 5381-1 )対応

## 特長

1. 盤内取り付け容易
  - JIS協約形配線用遮断器 2極寸法の幅 50mm
2. 劣化時も安心
  - 自動切離し装置内蔵
  - SPD 機能表示付き
  - 劣化接点出力対応
3. 応答性に優れ、無統流
4. 感電防止端子カバー付き
5. 取り付けは3パターン
  - DINレール
  - 接続取り付け板
  - 取り付け金具によるネジ止め
6. 1台で線間・対地間を保護
7. RoHS 対応



## 形式

LT-33

なし：劣化接点出力端子なし  
 S：劣化接点出力端子付き

最大連続使用電圧 (Uc)  
 2：130V / 250V AC  
 4：510V AC

AC電源専用です。

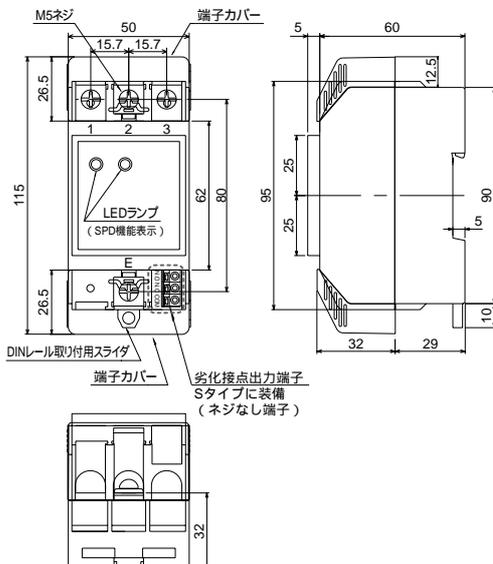
## 特性表

形 式	LT-332/LT-332S	LT-334/LT-334S
最大連続使用電圧(50/60Hz)Uc	単相2線 130V, 250V AC 単相3線 110V/220V AC 三相3線 250V AC	三相3線 510V AC
公称放電電流(8/20μs) In 線間, 対地間	10kA	
最大放電電流(8/20μs) Imax 線間, 対地間	20kA	
電圧保護レベル <sup>(注1)</sup> Up	線 間 1300V 以下 対地間 1500V 以下	2400V 以下 1
動作開始電圧 <sup>(注2)</sup>	線 間 480V ± 10%	860V ± 10% 1
使用温度範囲 T	- 20 ~ + 50	
外 郭 の 保 護 等 級 <sup>(注3)</sup>	IP20	
使用電線範囲	5.5mm <sup>2</sup> ~ 14mm <sup>2</sup>	

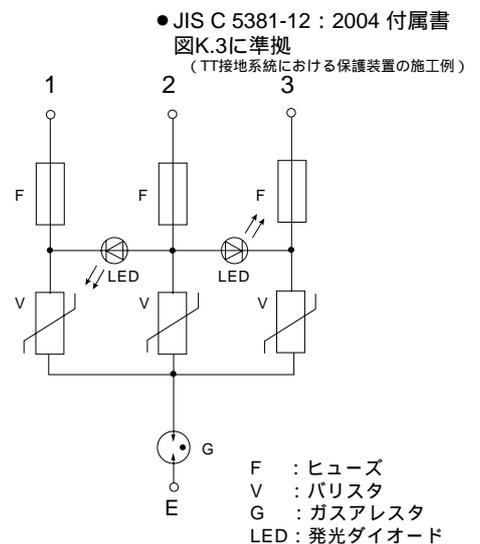
JIS C 5381-1に準拠した表示です。  
 注1 )公称放電電流 In:10kA(8/20μs)印加時の値。  
 注2 )直流1mA印加時の動作開始電圧を示す。  
 注3 )感電防止端子カバー取り付け状態による。  
 1'10年6月より変更。

## 外形寸法図

質量：約270g



## 回路図



低圧サージ  
 対策製品  
 JIS  
 対応

## 1. 使用例

(1) 万一SPDが破損した場合、およびSPDの点検時に他の機器への影響を防止するために次の事項を厳守して下さい。

金属ケース（推奨：透明窓付きの金属製分電盤）に入れて下さい。

SPDの点検用スイッチとして、図1に示す様にSPDの電源側に50AF、定格50AT以上の配線用遮断器（MCCB）を取り付けてください。

● 主幹器具の二次側に設ける場合は、定格遮断容量は5kA以上（国土交通省 建築設備設計基準 平成21年度版に記載）。

客先指定のある場合は、その指定に従って下さい。

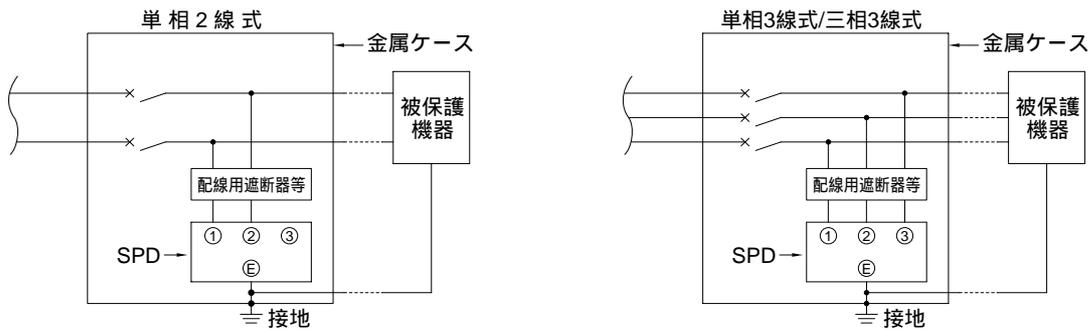
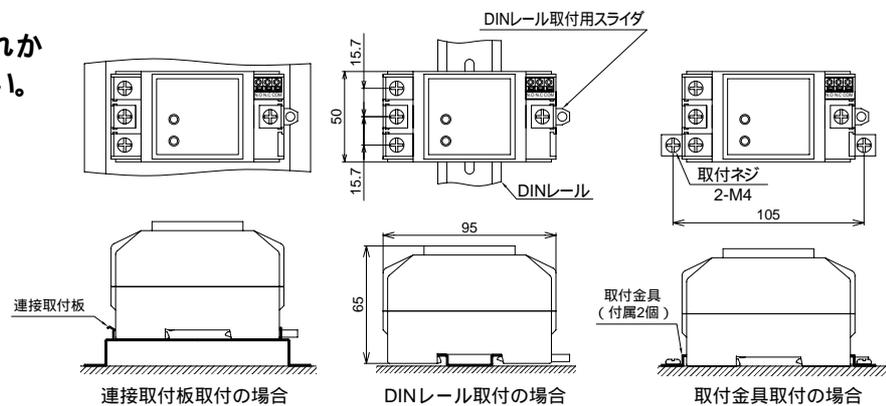


図1 SPDの取り付け回路図

## 2. 取り付け・配線

### (1) 取り付け方法

SPDは右図に示すいずれかの方法で取り付けて下さい。



### (2) 配線について

SPDの接続端子（M5ネジ）への接続は、圧着端子又は銅バーを使用して下さい。

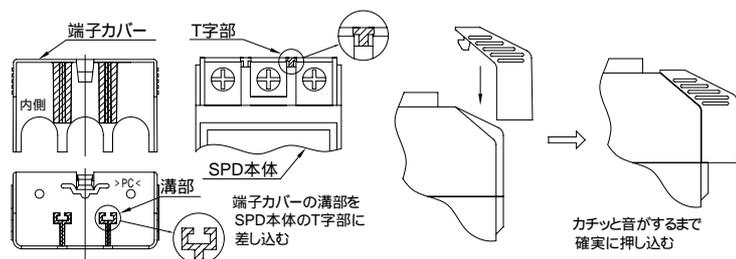
接続端子（M5ネジ）の締め付けトルクは、2.0～2.5N・mで締め付けて下さい。

配線は、線路側、接地側ともに5.5mm<sup>2</sup>～14mm<sup>2</sup>の絶縁電線、または銅バーを使用し最短距離で配線してください。

SPDの接地は、分電盤の接地を行い、分電盤内の接地端子に接続して下さい。保護効果をあげるために機器の接地線は、分電盤内の接地端子に接続して下さい。分電盤接地端子に接続できない場合、分電盤接地線と機器の接地線を接続して1点で接地して下さい。分電盤接地線と接続しない場合、機器を保護できない場合があります。

### (3) 端子カバーの着脱の仕方

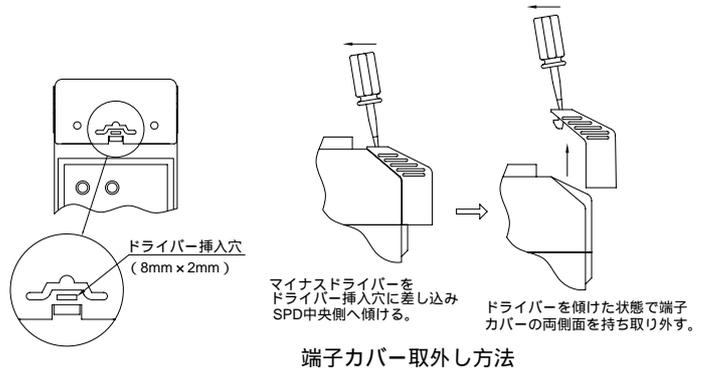
(a) 配線完了後、図に示す様に付属の端子カバーを取り付けて下さい。取り付けは、容易に外れないように確実に行って下さい。



端子カバー取り付け方法

低圧サージ  
対策製品  
JIS  
対応

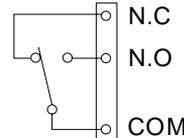
(b)取り外しは図に示す様に、工具を使用して行って下さい。



### 3. 劣化接点出力端子 (Sタイプに標準装備)

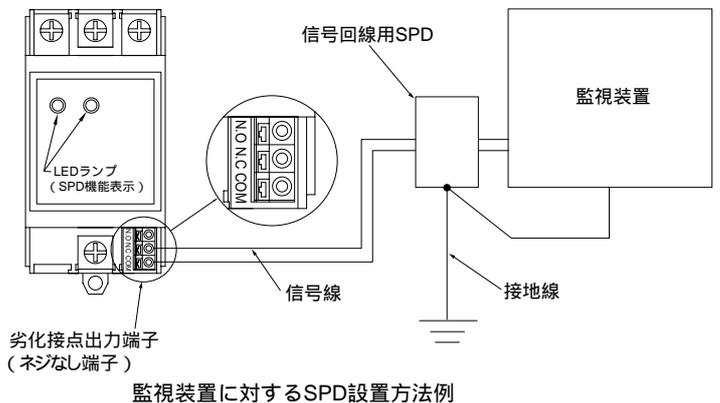
#### (1)仕様

最大使用電圧/電流	AC250V/1.5A DC110V/0.2A
接点動作(c接点)	a接点(N.O - COM)...正常時:OFF 劣化時:ON b接点(N.C - COM)...正常時:ON 劣化時:OFF
使用可能電線	より線 0.75mm <sup>2</sup> ~ 1.25mm <sup>2</sup> (AWG19 ~ AWG16) 単線 0.4mm ~ 1.2mm



(2) LT-332S・LT-334S形の劣化接点出力端子に信号線を配線して遠隔監視を行う場合、信号線から侵入する雷サージから御社の監視装置(劣化検出装置)を保護するために、信号線の監視装置直近に信号線の電圧に応じたSPDの設置をお願い致します。(右図参照)

接点回路電圧	適用SPD
AC100V	LT-121
AC200V	LT-122
DC12V	SL-GV12J
DC24V	SL-GV24J
DC48V	SL-GV48J
DC100V	LT-121

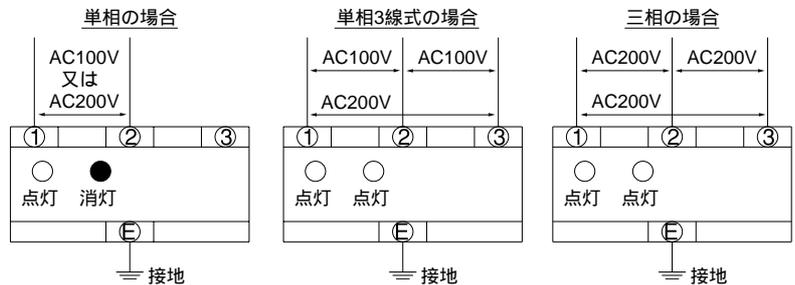


### 4. メンテナンス

- 毎年、襲雷シーズン前後及び襲雷直後に次の事項を確認して下さい。
- メンテナンスをする場合、感電の恐れがありますので、SPD機能表示ランプ(LED)の点灯確認以外は、必ずSPDの点検用スイッチを切して下さい。

- (1) ケース外装樹脂に変色、変形があればSPDを交換して下さい。
- (2) 電源を接続した状態でSPD機能表示ランプ(LED)が図の様に点灯することを確認し、消灯している場合は交換して下さい。  
性能以上の雷サージ等でSPDが寿命となるとSPD機能表示ランプ(LED)は消灯します。  
劣化接点出力端子付きタイプはSPD機能表示ランプ消灯時、N.C-COM接続ではOFF、N.O-COM接続ではONの状態です。

- (3) 500V絶縁抵抗計(メガー)で測定して、端子とE端子間の抵抗が10M 以下の場合、直ちにSPDを交換して下さい。



絶縁抵抗判定表

形式	測定箇所	絶縁抵抗判定値
LT-332/332S	1・2・3端子 - E端子間	500Vメガーで10M 以下の場合交換
LT-334/334S		